

「現在の介護の課題把握と解決策」

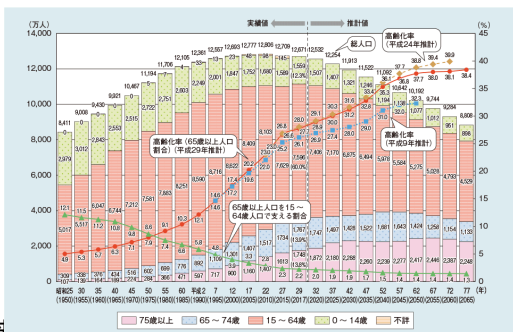
鹿本高校1年 菊池 壮太郎 木村 文香 坂梨 華澄 中山 新菜

要旨

少子高齢化社会が進む今、私達にできることはあるのかを探るため、インタビュー調査や文献調査を行った。インタビュー調査では、介護の現場での人手不足が明らかになった。文献調査では、複数の市と山鹿市の歳入・歳出を比較しロボット導入費用における現状が分かった。結論として、山鹿市でも介護の人手不足解決のためにはやはり介護ロボットの導入が効果的だと考えた。

研究背景

図1より、現代社会では少子高齢化が進んでいる。高齢者が多くなるとともに、介護を必要とする人が増えていく。私たちが住んでいる熊本県、山鹿市も少子高齢化が急速に進んでいるとよく耳にする。そこで、このような状況で困る人も出てくる中、同じ場所に住んでいる一人として、高齢者の方々に対してなにかできることがあるはず、わたしたちにもできることがあればするべきだと考え、調査を行った。



の推移と

将来人口

研究方法

- ①8月18日金曜日、午後1時30分から熊本県山鹿市役所の長寿支援課の方々に山鹿市で行われている高齢者への介護の対策や、介護などの現状などをインタビュー
- ②文献などによる山鹿市や他の市町村の介護ロボット導入に関する調査

結果・考察

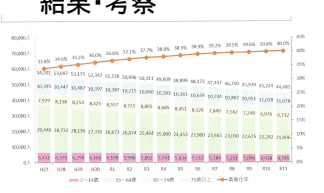


図2:山鹿市全体の人口の推移

要介護度	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	合計
1級	3,574	3,674	3,584	3,603	3,664	3,751	3,780	3,799			
2級	139	158	122	131	160	195	197	197			
3級	434	424	425	417	478	471	500	530			
4級	453	509	526	535	592	574	593				
5級	558	606	625	654	656	691	714	726			
6級	654	700	679	777	744	780	767	778			
7級	1,587	1,576	1,548	1,515	1,535	1,518	1,563	1,493			
8級	480	448	392	338	320	319	268	282			

図3:山鹿市の要介護度別認定者数

・図2から分かるように、山鹿市全体の人口は減少傾向であるが高齢者人口を見れば増加傾向にある。

・図3から分かるように、山鹿市高齢者人口19,000人のうち3,700人程が要介護者認定を受けている。要支援や要介護の認定を受ける人は75歳以降に急に増えだす傾向にあり、認定の理由は筋力低下に伴う脳介護状態や認知症の人が半数を占める。

〈山鹿市の高齢者に対する政策〉

・各節目年齢の介護予防教室→年齢に合わせた介護予防の必要性を理解・実践できるように実践を交えた講話を行っている。

・介護予防拠点通所事業→介護予防についての知識や実践、仲間づくりをして目標を持って生きがいのある生活を送れるように通ってもらう。

・はつらつ学校→4ヶ月の短期集中型で運動習慣をつけてもらって通いの場や介護予防拠点につなげる。

⇒インタビューの中で、介護を行う人手が不足していることが課題だと何度もおっしゃっていた。その要因として、介護を行うことは大変であることが考えられるだろう。そこで、介護ロボットの導入が効果的ではないかと考えた。

〈介護ロボット導入のメリットとデメリット〉

介護ロボットを導入することで移乗介助や排泄のサポートができ、介護をする人の負担を減らすことができる。だが、介護ロボットを導入する際に問題となるのがその費用である。

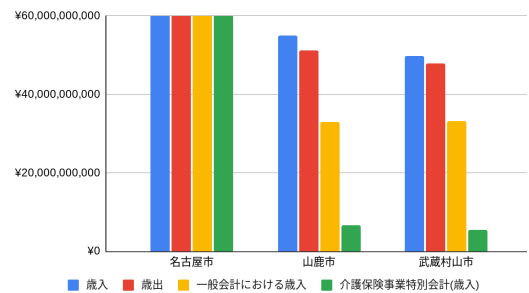


図4:令和3年度各都市の歳入歳出(円)

上記のグラフは山鹿市と介護ロボットの導入例が多い愛知県名古屋市、令和3年度の一般会計における歳入と歳出が山鹿市とほぼ同じ武蔵村山市のグラフである。全てにおいて名古屋市の費用が大きく上回っていることがわかる。武蔵村山市は議会などの記録により山鹿市より積極的に介護ロボット導入をはかっていることがわかる。しかし、介護に関係する費用を含む特別会計に関しては山鹿市のほうが歳入としては多いことがわかっている。このことから私達は、山鹿市は介護ロボット以外の介護活動に介護保険特別事業会計を使用しているのではないかと考えた。

今後の展望

今回、インタビューや文献調査を通して介護の最も大きな課題は介護をする人の人手不足だと分かった。人手不足解消のために介護ロボットの導入が全国的に進められているが、文献調査の結果から山鹿市は介護ロボット以外の介護活動に費用をかけているのではないかと推測した。今後は山鹿市の介護活動についてより深く知るため文献調査や山鹿市に対してのインタビュー調査をもう一度行っていこうと思う。

引用文献・参考文献

・内閣府ホームページより▶ <https://www8.cao.go.jp/whitepaper/html/gaiyou>

・第8期山鹿市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画 2021▶2023令和3年3月 熊本県 山鹿市(冊子)

・介護福祉士28投稿文

https://www.jaccw.or.jp/wp-content/uploads/2023/04/%E4%BB%8B%E8%AD%B7%E7%A6%8F%E7%A5%89%E5%A3%AB28_%E6%8A%95%E7%A8%BF%E8%AB%96%E6%96%87%EF%BC%88%E5%B1%B1%E5%8F%A3%E6%B0%8F%EF%BC%89.pdf
[市区町村の人口規模別一覧](#)

[介護サービス情報公表システム](#)

介護ロボット導入効果報告書 <https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/470686.pdf>

令和3年度決算のあらまし - 武蔵村山市 <https://www.city.musashimurayama.lg.jp/shisei/zaisei/kessan/1016634/index.html>

山鹿市 予算・決算の概要 公表 https://www.city.yamaga.kumamoto.jp/kiji003160/3_160_4_63241ed8005.pdf

名古屋市 予算の概要 <https://www.city.nagoya.jp/zaisei/cmsfiles/contents/0000137/137965/3gaiyo.pdf>

令和5年度(2023年度)介護職員勤務環境改善事業(介護ロボット)補助金の募集について <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/32/177273.html>
第4号様式(第10条関係) 会議録

https://www.city.musashimurayama.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/002/934/r1kaigiroku2.pdf